



平成 24 年 2 月 14 日

各 位

会 社 名 セイコーホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 服部 真二  
(コード番号 8050 東証第 1 部)  
問合せ先 経理部長 瀧沢 観  
(TEL 03-6739-3111)

### 特別損失の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 24 年 3 月期第 3 四半期において、特別損失を計上するとともに、平成 24 年 3 月期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）の通期連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 特別損失の計上について

電子部品等事業において、ディスプレイ事業の撤退等、構造改革を決定したことに伴い、たな卸資産評価損 11 億円を特別損失に計上いたしました。

#### 2. 平成 24 年 3 月期通期連結業績予想の修正（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

(金額単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回業績予想 (A)	300,000	7,500	2,500	500	2.74 円
今回修正予想 (B)	295,000	5,500	500	△9,500	△51.97 円
増減額 (B-A)	△5,000	△2,000	△2,000	△10,000	—
増減率 (%)	△1.7	△26.7	△80.0	—	—
(ご参考) 平成 23 年 3 月期	313,881	11,656	6,585	2,181	12.43 円

#### 3. 業績修正の理由

平成 24 年 3 月期第 4 四半期では、世界経済は引き続き先行き不透明感が強く、また、タイの洪水の被害からの回復にも時間を要すると思われま。ウオッチ事業では国内・新興国を中心に順調に推移すると見込んでおりますが、電子部品等事業ではタイの洪水による生産活動への影響が引き続き残ることから、連結全体の売上高は前回予想を若干下回る見通しであります。また、営業利益、経常利益も売上の修正に伴い前回予想を下回る見通しとなりました。さらに、ディスプレイ事業の撤退等、電子部品等事業における構造改革を決定したことに伴い、第 3 四半期に特別損失に計上した 11 億円に加え、第 4 四半期に約 40 億円の構造改革費用を計上する見通しとなりました。これらの事業収益の悪化を踏まえた繰延税金資産の回収の可能性の見直しによる繰延税金資産の取り崩し等が第 3 四半期に約 28 億円発生した結果、通期の連結業績予想につきまして、上記 2 の通り、修正いたします。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の環境変化等の要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上